

学校だより～平成28年度（後期）臨時号～

京都市立春日野小学校 校長 三上 直美



保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと思います。平素は本校教育にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、平成28年度後期の学校評価アンケートですが、「170」の回答をいただきました。回収率としては約63%、お忙しい中にもかかわらず、多数のご協力ありがとうございました。

◎アンケート結果から

「授業は楽しい」「授業はよく分かる」という項目では、それぞれ93%、91%の児童が肯定的な回答をしています。児童につけたい力を明確にして取り組んできた成果が出てきているのかと思います。しかし、すべての教科で十分な力を付けることができていることを真摯にとらえ、授業力を高めていくよう、次年度も研鑽を図っていきます。

一方、家庭学習においては、93%の児童はできていると回答していますが、保護者のできているといった回答は67%にとどまっており、学習時間や自主学習の質や量の向上を図りたいと考えています。その為にも、宿題以外の学習方法についてどのように取り組むか具体的に伝え、関心をもち最後までやり通す力を付けることが今後の課題になると思います。ジョイントプログラム等の調査結果を見ても、京都市平均を下回っている学年・教科があり、授業で「わかった・できた」と思っている、十分に定着していないと言えます。学んだことを復習して、確実に自分の力となるような学習習慣をつけていけるよう、取り組んでいきます。

あいさつについては、児童会のあいさつ運動等をきっかけに、ここ数年で少しずつ改善してきましたが、保護者や教職員から見るとまだまだ満足いく状況になっていないのが現状です。相手に聞こえる、気持ちの良いあいさつを学校でも指導していきますが、引き続きご家庭や地域においても子どもたちへの声かけをお願いいたします。

学校教育目標

「自分で考え進んで学び、自分の未来を切り拓く子の育成

目指す子ども像

かんがえる子 すすんでする子 がんばりとおす子 のびのびいきいきげんきな子

◎基本的な生活習慣について

毎朝、各教室での健康観察や年間3回の生活調べ等を通して、日々の生活習慣の見直しを図ってきました。睡眠・食事の大切さは、保健指導・給食指導の中でも行っています。これらの基本的な生活習慣が身につくにつれて、運動や学習に力一杯取り組むことができると考えています。子どもたちも頭では理解していても、生活の中では思うようにはできていない面もあるようです。

体づくりについては、休み時間も元気に外で遊んでいる子どもがたくさんいます。反面、教室で過ごす子どもも見られるので、健康な体づくりのためにも、外で思いっきり走り回ってほしいです。これからも引き続き、学校と家庭がともに声を掛け合って、日々元気な姿で登校できるように取り組んでいきたいと思っております。

◎学校運営協議会の方々から

あいさつについては登校時でもできていますが、下校時の方がより元気に気持ちの良いあいさつをしてくれるように感じます。高学年の子は、背中越しでも気付いて声をかけてくれるのはうれしいです。また、登下校時に子どもを送っている保護者の方も、「ご苦労様です」と声かけしてくれるのはありがたく思います。

言葉遣いについては、下校時等の会話を聞くと少々荒いように感じることもありますが、これについては学校だけでなく、各家庭での会話の影響もあると思うので気にかけてもらえればと思います。

ゲーム機や携帯電話等を時間を決めず、だらだらと使っているような現状が見て取れます。その結果、早寝・早起きができず、遅刻や学校での生活に影響が出ているのではないのでしょうか。ルールや約束事、個々の家庭での様子などを懇談会で話し合ってみてはどうでしょうか。

子どもたちが学校で身に付けてほしいことは、「思いやり」や「感謝の気持ち」だと思います。何かをしてもらった時は、自然に「ありがとう」と言える、頑張った人には「ご苦労様」の言葉があふれると、相手に気持ちが伝わり、幸せな気分になれると思います。

